

【ご案内】年投(株)K66(安定成長型)のスタイル変更決定について

■ 事態概要

年投(株)K66(安定成長型)は低ベータ性を特徴とし、銘柄厳選によるアクティブ収益の獲得が期待される戦略ですが、社会構造変化の恩恵が期待され、相対的に上昇局面への追従度が高い運用スタイルへの変更を企図し、運用スタイルを「安定成長型」から「ESG考慮型高配当株式戦略」に変更することといたしました。「ESG考慮型高配当株式戦略」は高配当かつ低ベータの国内株式銘柄に選別投資し、配当の成長性・持続性や、企業としての持続可能性・ESGへの取り組みを精査することで、長期的なリターン安定性の確保を目指す運用手法となります。

【運用手法変更適用日】

2026年5月1日

【スタイル変更前後のファンド概要比較】(下線部は変更箇所)

項目	現行	変更後
戦略名	安定成長型	ESG考慮型高配当株式戦略
運用者	三井住友信託銀行	三井住友信託銀行
外部運用委託先	三井住友トラスト・アセットマネジメント	三井住友トラスト・アセットマネジメント
主な投資対象	国内上場株式	国内上場株式
運用手法	持続的な安定成長が見込まれる銘柄に投資 主として食品や日用品等の生活必需品を扱い、安定的なキャッシュ創出力を有する優良企業を選別	高配当かつ低ベータの国内株式銘柄に選別投資し、配当の成長性・持続性や、企業としての持続可能性・ESGへの取り組みを精査することで、長期的なリターン安定性を確保することを企図
ベンチマーク	なし	なし 参考ベンチマーク: TOPIX(配当込)
運用目標	中長期的に絶対収益で5.0~10.0%を目指す	中長期的に絶対収益で5.0~10.0%を目指す
組入銘柄数	15-25銘柄程度	30銘柄程度

■ 今後の対応について

本スタイル変更の際して、運用協議(運用ガイドラインの変更等)のご対応が必要となるお客さまへは、別途ご案内させていただきます。

なお、変更後の「ESG考慮型高配当株式戦略」は、弊社既存ファンドの年投(株)K70と同一スタイルであり、スタイル変更後、受益者利益となることが確認された場合は、K66とK70のプロダクト併合を実施する可能性がございます。